

第3学年 社会科学習指導案

1. 単元名 880年もつづく「おん祭」

2. 単元の目標

- ・ 「おん祭」は、奈良の人々の生活の安定と向上を図ろうとする人々の願いが込められたものであり、祭りを保存・継承するために工夫や努力を続けてきたから、880年も一度も途切れることなく行われていることを理解するとともに、「おん祭」についてパンフレットなどの資料から読み取ったり、見学や聞き取りなどから必要なことがらを見たり聞いたりして、自分の考えをつくる材料として活用する。【知識・技能】
- ・ 「おん祭」が、奈良の人々の幸せな暮らしを願ってのものであることや、880年も一度も途切れることなく続けられてきたわけを、調べたことをもとに考え、適切に表現する。【思考・判断・表現】
- ・ 「おん祭」に関心を持ち、一度も途切れず続いてきたことについて意欲的に調べたり考えたりするとともに、大切に守り続けていこうとする態度をもつ。【主体的に学習に取り組む態度】

3. 単元について

○（教材について）

本単元は、学習指導要領（5）「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」のイ「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」にあたる。

「春日若宮おん祭」は、1136年に関白藤原忠通が農作物の豊作を願って始め、約880年一度も途切れることなく続けられている奈良市で最も大きな祭りである。12月17日午前0時、春日大社の摂社である若宮神社の若宮神を、春日大社の参道にあるお旅所に遷す「遷幸の儀」から始まり、神楽や猿楽などの数々の古典芸能が演じられる「お旅所祭」が行われる。正午からは、平安時代から江戸時代までの様々な衣装で練り歩く「お渡り式」が行われ、行列が歩く三条通りには多くの出店が立ち並び、たくさんの人で賑わう。「お旅所祭」は深夜まで行われ、若宮神を若宮本殿に帰す「還幸の儀」まで古式に則り行われる。

奈良では、昔から年の瀬のいちばん大きな祭りとして、この日ばかりは農作業を休み、普段は食べないごちそうを用意したり贅沢をしたりして、大人も子どもも祭りに参加して楽しんだ。現在も、奈良市内の公立小学校では、この日はおん祭に出向くことができるように授業を短縮している。

○（児童について）

3年生になって社会科の学習を始めた児童は、「校区を調べる」では、地域に出かけて学習することの楽しさを味わった。「奈良市を調べる」では、自分たちの生活する奈良市にさまざまな特色があることを学び、奈良市のよさを知った。しかし、資料から正しく読み取ったり、見学や聞き取りから自分にとって必要なことがらを取捨選択したりする力はまだ弱い。また、話し合う活動についても、事実や経験を根拠にして分かりやすく伝えたり、そこから自分の考えをつくったりする力は、その経験が少ないため、まだまだ身に付いていない。

春日大社は校区であるため、おん祭に関しては、授業が短縮になって昼前から遊びに行けることを楽しみにしている児童は多いが、祭りそのものの内容やその意味、また長く続いてきたことはほとんど知らない。

○（指導について）

まず、「みつめる」段階では、だれもが一度は行ったことがあるおん祭について知っていることを出し合う。おそらく、「行列を見たことがある」「いっぱいお店が出ているからいろんなものを買ったりする」などの意見は出るだろうが、児童は祭りそのもののことはあまり知らないだろうし、880年も

一度も途切れることなく続いているという事実に驚くであろう。そこで、「なぜ、おん祭は 880 年一度もとぎれることなく続いているのだろうか？」という学習問題を設定する。

「しらべる」段階では、おん祭がいったいどのような祭りなのかを、パンフレットなどの資料から読み取らせる。そして、実際に若宮神社やお旅所などへ見学に行ったり、実際の祭りの様子を映像で見たりする。さらに、祖父母などに、以前のおん祭のときの様子や楽しみなどについて聞き取りを行い、昔からおん祭がいちばんの祭りであり、奈良の人たちにとっては特別な日であったことを実感させる。また、春日大社の方にその保存と継承にかける工夫や苦労など、おん祭に関わる思いについて話をいただき、学習問題の解決に向けた自分の考えをつくらせたい。

「ふかめる」段階では、学習問題の解決のために、「これからもおん祭は毎年続いていくのだろうか？」というテーマでねり合いをする【②未来像を予測して計画を立てる力】。児童の大部分はおそらく「続いていく」と考えるであろう。では、なぜ続いていくと考えるのか、続いていくためにはどんなことが必要なのかということ話し合う【④コミュニケーションを行う力】ことを通して、880 年間続けてきた人たちの工夫や苦労に思いを馳せることができると考える。そのために、長く続いた祭りであっても様々な事情でなくなってしまう祭りの例を提示する。その事情の中身を考えることで、それでも一度も途切れず 880 年も続いてきたおん祭のすごさを実感させるとともに、これからの自分のおん祭への見方や参加の仕方を考えさせさせたい【⑦進んで参加する態度】。

さらに「ひろげる」段階では、おん祭と同じように一度も途切れることなく 1260 年以上続けられてきた東大寺二月堂のお水取りを取り上げ、長く続く行事にはそこに暮らす人々の切実な願いと、それを守り続けていくための工夫や苦労があることへの理解を深めたい。

○（「持続可能な社会を考える」視点について）

880 年一度も途切れることなく続けられてきたおん祭、1260 年以上続いてきたお水取りなどは、いずれも人々の「よりよい暮らし」「平和」「幸せ」を願って始められ、奈良の人々の工夫と苦労によって綿々と受け継がれてきた『大切なたからもの』であると感じてほしい。時間的なつながりとともに、人の思いも同じようにつながってきているからこそ長く続いているということが実感できれば、今後自分たちがどのように地域と関わっていけばよいかを考える視点ができると思う。

また、これらの伝統的な行事だけでなく、身近な地域には同じような『大切なたからもの』が数多くあることに気付くことができれば、「地域を大切に思い、地域の未来を切り拓く」という飛鳥小中で目指す児童像に近づくことができると考える。

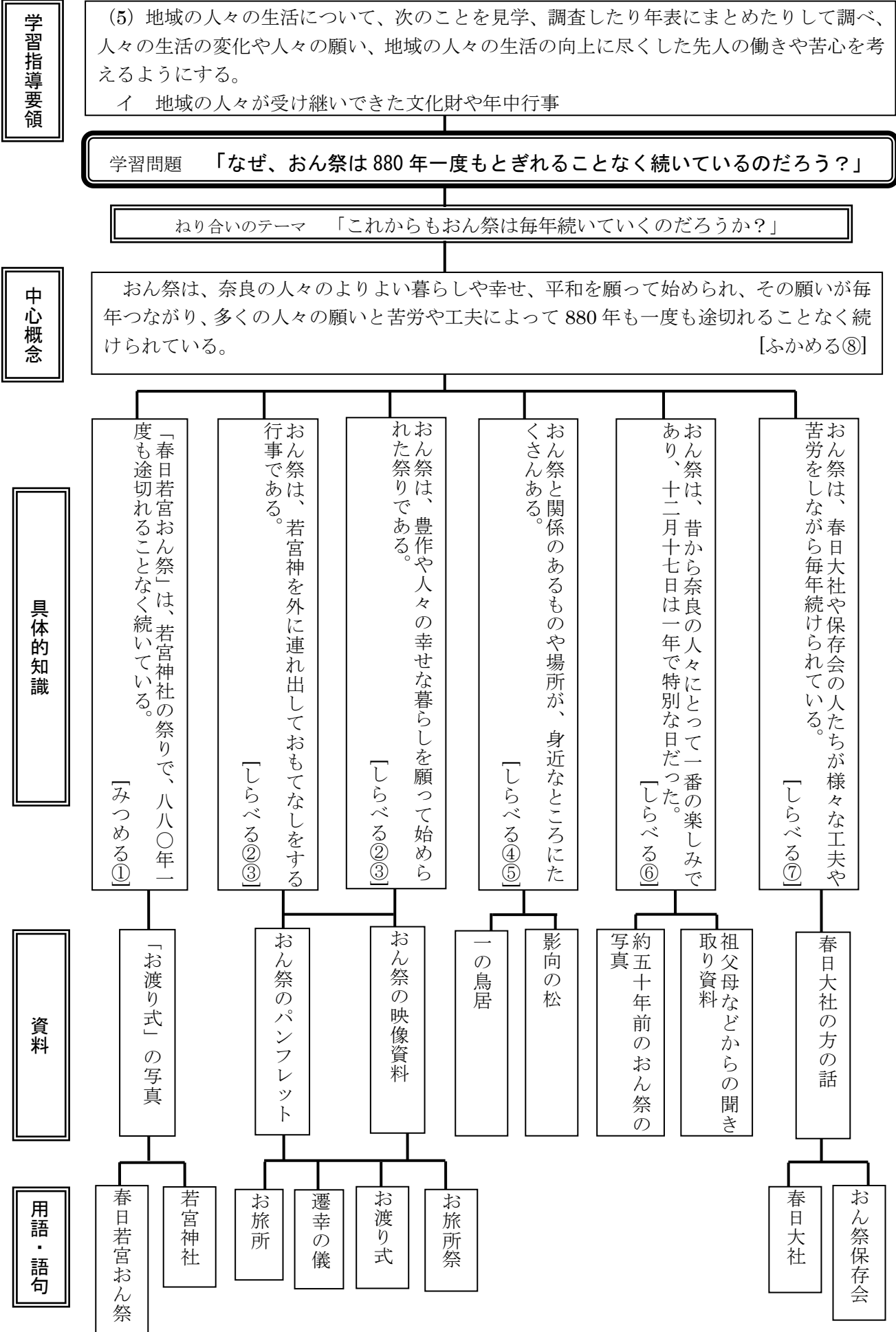
[持続可能な社会づくりの構成概念]

- Ⅲ 有限性・・・長く続いてきた祭りや行事でも様々な要因によって続かなくなる
- Ⅳ 公平性・・・おん祭は時代を超えて奈良の人々のよりよい生活のために続けられている
- Ⅴ 連携性・・・様々な立場の多くの人々が協力して続けてきた
- Ⅵ 責任性・・・続けていくのはそこに住む自分

○（評価について）

単元を通して、自分との関わりで学習を進めていくことができているかを丁寧に評価していきたい。まず、「しらべる」段階で、おん祭についてパンフレットや見学、聞き取りなどから、どんな祭りなのか、またどのような人々の願いや思いがあるのかなど、具体的知識として確実に理解できているかを「知識・技能」の観点から評価する。さらに、「ふかめる」段階でのねり合いでは、具体的知識や自らの経験などを根拠にして、学習問題の解決に向けて自分の考えをつくることができただかを「思考・判断・表現」の観点から評価する。また、「ひろげる」段階では、古くから受け継がれてきた地域に残る『大切なたからもの』を大切に守っていくために、これらを自分ごととして考えていくことの大切さに気付いているかを「思考・判断・表現」の観点から評価する。「主体的に学習に取り組む態度」については、単元を通して自分ごととして考え、意欲的に活動しているかを見取ってみたい。

4. 知識の構造図



※単元の構想（全9時間）

おん祭について知っていることを出し合おう

毎年授業が早く終わって見に行ったりするよ。

たくさんの人が来ていて、お店もいっぱい出ているよ。

昔の衣装を着た人が大勢行列で歩いたりしているよ。

880年前から毎年一度も途切れることなく続けられてい

一年も途切れることがなかったってすごいことだなあ。

なぜ、おん祭は880年一度もとぎれることなく続いているのだろうか？

おん祭について調べてみよう

⑥ しらべよう

- ・正しくは「春日若宮おん祭」で、春日大社の若宮という神様の祭り。
- ・若宮様を外に連れ出して、神様に喜んでもらえるように一晩中おもてなしをする。
- ・食事を出したり、歌や踊りを披露したりしておもてなしをする。
- ・相撲や競馬なんかもある。
- ・だから、12月17日の昼の行列だけでなく、いろいろな催しや行事がある。
- ・奈良市では昔からいちばん大きな祭りで、みんな仕事を休んで祭りを楽しんできた。

おん祭が行われる場所へ行ってみよう
(若宮神社、お旅所、一の鳥)

おじいちゃんやおばあちゃんに昔のおん祭りのことを聞いてみよう

春日大社の方に話を聞こう

あの場所にそんな意味があったなんて知らなかったなあ。

奈良の人にとってはすごく大切なお祭りでみんな楽しみにしていたんだなあ。

毎年続けていくためにはたくさんの方が関わっているんだなあ。

これからもおん祭は毎年続いていくのだろうか？

奈良の人にとって大きな楽しみだからずっと毎年続くと思う。

人々の幸せを願ってのお祭りだからずっと続いていくと思う。

続いていくとは思いますが、そのためにはわたしたちがもっと関心をもたなくては。

おん祭りを支えている人たちが多くいることを忘れてはだめだと思う。

奈良ですずっと続いている他の行事について考えよう

① ひろげよう

お水取り

- ・1260年以上も毎年途切れることなく続いている。
- ・人々の幸せを願って仏様に悪い行いをおおびする行事。
- ・「お水取りが終わらないと奈良に春は来ない」
- ・全国的にも有名でたくさんの方が見物に来る。

古くから続いているものはそれだけ多くの人々の願いがこめられているんだなあ。

奈良にはすばらしいお祭りや行事がたくさんあるんだなあ。

5. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①おん祭は、人々のよりよい暮らしを願って 880 年も一度も途切れることなく続いていることを理解している。</p> <p>②パンフレットなどの資料から必要なことを読み取ったり、見学や聞き取りから課題に対して必要なことを見出したりして、学習問題の解決のために活用している。</p> <p>③おん祭が長く受け継がれてきたのは、地域の人々の祭りに対する願いや熱い思い、様々な工夫や苦勞があったことを理解している。</p>	<p>①おん祭は、人々のよりよい暮らしを願って地域の人たちが工夫や苦勞をしながら 880 年も続いてきたことを考え、適切に表現している。</p> <p>②奈良には古くから大切に受け継がれてきた「たからもの」が数多くあることを考え、適切に表現している。</p>	<p>①昔から続くおん祭に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりしている。</p> <p>②古くから受け継がれている「たからもの」を大切に守っていこうとする態度を表している。</p>

6. 単元展開の概要（全 9 時間）

	学習活動	●指導上の留意点 ・「資料」	評価[方法]
みつめる①	○おん祭について知っていることを出し合い、学習問題を設定する。	●880 年一度も途切れることなく毎年続けられてきたことを知らせ、学習問題の設定につなげる。 ・写真「おん祭の様子」	ウ① ア① [発言・ふり返り]
「なぜ、おん祭は 880 年一度もとぎれることなく続いているのだろうか？」			
しらべる⑥	○おん祭について、パンフレットから調べる。 ○現地に見学に行く。 (若宮神社、お旅所、一の鳥居) ○お家の人からおん祭について聞き取ったことを交流する。 ○春日大社の方からお話を聞く。	●お旅所祭の様子などを映像で確かめられるようにする。 ・パンフレット ・DVD ●ふだん見ている風景の中に、おん祭と関わりがあるものが多くあることに気付かせる。 ●主に祖父母世代から聞き取りをさせ、今のおん祭と同じところと違うところを明らかにさせる。 ●おん祭の保存、継承にかける思いや、工夫や苦勞について話していただく。 ・春日大社の方の話	ウ① ア② [発言・ワークシート・ふり返り]
ふかめる①	○おん祭がこれからも続いていくためには、どんなことが必要かについて話し合う。	●「これからもおん祭は毎年続いていくのだろうか？」というテーマでねり合う。 ●なぜそう考えるのか、続けていくためにはどんなことが必要かを、既習事項や経験などを根拠に考えられるようにする。 ・写真「大柳生太鼓踊り」	イ① ア③ [発言・ふり返り]
ひろげる①	○これまでの学習を活かして、お水取りについて考える。	●お水取りは 1260 年以上続いていることや大まかな内容を、映像などから知らせる。 ●おん祭との共通点などを考えさせる。	ウ② イ② [発言・ふり返り]

